

## 札幌市青少年科学館ツアーを終えて

秋晴れの10月5日、ホームステイ協会研修会で札幌市青少年科学館へ行きました（以下略称 科学館）。参加者は、会員18名、ゲスト3名、プラザ職員1名の合計22名です。集合場所は科学館入口前、澄んだ青空と科学館の建物をバックにみんなで記念撮影。その後、いよいよ入館です！

まずはリニューアルされた科学館にわくわくしながら、プラネタリウムへと向かいました。その日わかったのですが、プラネタリウムは毎回違う内容のものが上映されていて、私たちが予約していた第一回目は「おばけのマールとゆめのとびら」でした。私が想像していたものとは全然違うプラネタリウムで、かわいいおばけのマールが宇宙へ飛び出し、

星空解説のお兄さんが宇宙服に身を包み、マールを探しに行き無事地球に帰還するストーリーでした。プラネタリウムには私たちの住む札幌の街並み、テレビ塔、時計台、札幌ドームなどが映し出され、そこに現れる星座や星の数々を、科学館の解説員がやさしく丁寧に説明してくれました。



プラネタリウムの後は、昼食を食べながら交流会が行われました。穏やかな雰囲気の中、グループに分かれて自己紹介をしました。札幌市の姉妹都市、ドイツのミュンヘンやロシアのノボシビルスク、アメリカのポートランド、韓国の大田（テジョン）など、今までどこの国の人をホームステイで受け入れたことがあるかなど話は尽きません。Time flies. 楽しい時間はあっという間に過ぎ、交流会を終えました。

長年ホームステイに携わってきたメンバー、そして新しくこれからホームステイの受け入れしてみたいというメンバーが、お互いの顔を見ながら笑顔でたくさん会話ができたことが本当に良かったです。また次回の研修でも、皆様にお目にかかれることを楽しみにしています。

研修担当 中川 孝子

今回の交流会で、ホームビジットやホームステイについてボランティアの方々の話を聞いた中で、ホストファミリーの家庭に訪れたゲストがどんな国の出身で普段はどのような生活をしているのか等の話を聞くことができました。その中でも過去に訪れたゲストと今も連絡を取り合っているということが、大変興味深かったです。

私も、たくさんのゲストの方と交流を深め、異文化について学んでいきたいと思えます。

(厚別区・Mさん)

青少年科学館ツアーに参加し、プラネタリウムと他の施設内を見学しました。プラネタリウムが好きで、今まで何度も見ていますが、毎回プログラムが違うので飽きることがありません。リニューアルオープンしてから初めて青少年科学館を訪れるので、このツアーをとても楽しみにしていました。

第1回目と第2回目のプログラムを見ましたが、札幌の空の上にたくさんの星が瞬いていることに改めて感動しました。平成30年の胆振東部地震で、札幌が停電になりブラックアウトした時、星をたくさん見ることができカシオペア座も確認したことを思い出しました。

会員の皆様とお話する機会もあり、とても楽しいひと時でした。このような研修に参加させていただいて、本当にありがとうございました。

(東区・Mさん)



## ちょっと早い「Xmas 交流会」を終えて



12月1日、札幌国際プラザでちょっと早い「Xmas 交流会」を開催しました。イベントの担当者たちは当日の朝ぎりぎりまで打ち合わせを重ね、ワイワイとにぎやかに準備をしました。そうした中、予想以上の外国人16名を含む51名もの人たちに来ていただき、嬉しい限りでした。

交流会は、次のような内容で行われました。初めに自己紹介、次に全員での「椅子取りゲーム」と6チームに分かれての「スプーンピンポン玉リレー」のゲーム。続いて「じゃんけん大会」。それは、10回勝って手持ちの紙がなくなった人から各自が持参したクリスマスプレゼントを選ぶことができるというものです。とても白熱しました。ゲームを経てすっかり場がほぐれ、その後はフリータイムで飲み物やおやつをグループごとにいただきながら交流を深める楽しい時間を持ちました。抹茶コーナーは、外国の方々に大好評で、行列ができるほどの人気ぶりでした。また、歓談中には細川会長による日本舞踊の披露があり、参加者の方々は「初めて観ました。」と大変感動した様子でした。交流会の締めくくりには、全員で盆踊りやクリスマスソングでのダンスを行い、またまた大いに盛り上がりました。

参加した皆様には大変喜んでいただきケガなどもなく、無事終えることができ、準備をしてきた私たちは安堵と同時に、充実した気持ちで満たされる思いでした。今回、私は企画や準備から携わりチームワークのすばらしさに感動し、充実した時間を体験することができました。会員の皆様の中にはホームステイ協会のイベントに参加することを迷っている方がいらっしゃると思います。しかし、勇気を出して一歩踏み出すと、そこには、国際交流に関心を抱き、協力していきたいという同じ思いの方々が大勢います。是非、一緒に楽しみ笑顔になりませんか。参加しましょう！

研修担当 納谷 由美



## ～参加者の声～

### 東区・Oさんご家族

初めての参加でしたが、色々な国の方と交流することができて、とても良い思い出となりました。子どもたちも楽しんで外国の文化に触れることができました。ありがとうございました。

### ゲスト・Cさん(アメリカ)

It was really good. Rock paper scissors was really fun. It would be great to have more time to talk.

### ゲスト・Cさん(中国)

日本文化に関する部分をもう少し増やしても良いと思います。例えば、茶道についてや、茶道で使われる言葉（「一期一会」など）の紹介、お茶の飲み方について説明するなどです。これらは日本文化を体験したことがない外国人にとって、とても興味深い内容だと思います。私自身も盆踊りがとても面白く、踊り方を覚えられるとは思っていませんでしたので、良い経験になりました。また、皆さんともっと会話できる時間があれば、さまざまな交流ができたのではないかと思います。

## 「JENESYS2024」中国高校生訪日団ホームビジット

2024年11月13日(水) 25名を12家庭が受け入れ

我が家に来てくださったのは秦さんと宋さん、北京の高校で日本語を学ぶお二人です。二人は私の古い音楽CDや漫画、小説本に興味を持ってきて期待以上に話がはずみました。お土産交換では、宋さんからは自筆の毛筆の書を、秦さんからは故宮の屋根瓦を写したマグネットをいただきました。私からのプレゼントでは、シマエナガのマスコットをととても喜んでくれました。食事後には、進んで食器洗いもしてくれるなど、本当に交流して気持ちの良い素敵なお二人でした。

今回の交流で大変驚いたことが2点あります。1点目、夕食のメインを、まだ知られていない日本食のつもりで「おでん」にしましたが、二人とも北京のローソンで買って食べていると言うのです。今回は正式なレシピで我ながら美味しい出汁を取って作ったので、二人が美味しいと言ってきて、社交辞令とは分かっている嬉しかったです。2点目、私の漫画の蔵書のうち「ゴールデンカムイ」ばかりでなく、二人は「黒執事」まで知っていました。日本文化の北京進出ぶり、恐るべしです。

受け入れ前は、英会話もできず住まいも普通のマンションの私で良いのか不安でしたが、今は少し自信ができました。また、二人からお聞きした学校や街の様子などの北京最新事情はとても新鮮でした。今度はぜひ、自分の目で確かめに行きます。

以上、失敗も多々あり稚拙な初体験でしたが、今後も経験を積みながら、さらに楽しく交流していきたいと思っています。



(北区・Hさん)

## 札幌ホームステイ協会より～心に残る温かい交流をめざして～

この1年を振り返りますと、協会では以下の3つの素晴らしい行事を通じて、会員相互の絆を深めるとともに、外国の方々との心温まる交流を実践してまいりました。それは、アンコールの「座禅体験」、リニューアルされた「青少年科学館」の見学、ちょっぴり早い「クリスマス交流会」です。特にクリスマス交流会では、「心に残る温かい交流を」という目標のもと、会員相互の協力で、多くの参加者とともに笑顔があふれるひと時を過ごすことができました。行事後には「新しい友だちとつながりができた」という嬉しい声も寄せられ、活動の意義を改めて実感いたしました。

私は、この1年を通じて、協会が「会員相互の絆を深めること」、「外国の方々との交流を広めること」の両目標に向かって着実に前進できたと感じております。改めて一緒に関わってくださった全ての皆様に感謝の気持ちをお伝えするとともに、来年度もより心に残る交流を共に育ててまいりたいと存じます。引き続きご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。国際プラザ多文化交流部の皆様には、行事の実施にあたり多大なるご支援をいただき、深く御礼申し上げます。

会長 細川 道子

## 札幌国際プラザより

新年のお慶び申し上げます。皆様お元気にお過ごしでしょうか。

令和6年度のホームステイボランティア事業は、全面再開後、少しずつ活気を取り戻し、依頼件数も順調に増えてきております。これもひとえに、ホームステイボランティア登録家庭の皆様のご協力のおかげであり、心より感謝申し上げます。年明け早々、大型プログラムを予定しております。同封の案内にて詳細をご確認いただけますので、ぜひご協力のほどよろしくお願いいたします。

また、2025年度は登録更新の時期を迎えます。3月頃に改めて郵送にてご案内いたしますので、安心かつ円滑な事業運営のため、更新手続きへのご協力をいただけますと幸いです。

本年も、皆様とともにより充実した事業を進めてまいりたいと考えております。変わらぬご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

## 「かけはし」アーカイブ

2017年3月の「かけはし」に、ホームステイ協会設立30周年祝賀会が行われ、諸先輩たちがホームステイを通して海外からのゲストに「O・MO・TE・NA・SHI」の草の根交流を30年間続けてきたことが記載されていました。「…続けていることのすばらしさを感じたひと時でした。」との感想も述べられていました。コロナも落ち着いてきた昨今、皆様方も改めてグローバルな世界に浸ってみてはいかがでしょうか！（宮本 佳世子）

## 編集後記

新しい年を迎え、「かけはし」No.90を皆様にお届けできたことを嬉しく思います。2024年度、札幌ホームステイ協会の広報「かけはし」年3回発行という目標を達成できたことは、広報に関わる皆様のご協力の賜物です。お手元の「かけはし」を楽しんでいただけましたら幸いです。（広報幹事 山本 紀美代）

### -ホームステイボランティア登録、ホームステイ受入に関するお問合せ-

(公財)札幌国際プラザ (札幌市中央区北1条西3丁目札幌MNビル3F)

✉ homestay@plaza-sapporo.or.jp ☎ 011-211-2105 FAX: 011-211-3673

🌐 [http://www.plaza-sapporo.or.jp/citizen\\_j/volunteer/homestay.html](http://www.plaza-sapporo.or.jp/citizen_j/volunteer/homestay.html)

### -札幌ホームステイ協会の活動や「かけはし」に関するお問合せ-

札幌ホームステイ協会 (札幌市中央区北1条西3丁目札幌MNビル3F 札幌国際プラザ内)

✉ sapporo\_homestay@yahoo.co.jp ☎ 011-211-2105 ※国際プラザの担当者に繋がります。